



このような素晴らしい経験、そして、仲間との絆を深める事が出来ましたのは、どんな時も応援して下さい、青年部の意向を常に尊重し、惜しみなくご教授して下さいました先生方のお支えと、心に残るお席にしたいと一生懸命取り組んだ仲間の思いです。

この大会を通して、大きな一歩を笑顔満開で踏み出し、更なる「ONE」を目指して活動して参りたいと思います。

大社席

東信分会 柳澤 邦子

この大会を終え一番感じた事、それは、全ての皆さまへ感謝する心でした。

諏訪大社下社秋宮斎館にて初めて迎える大会当日、お客様をお迎えする前に茶席を見渡すと、会員がひとり一人の力を発揮し、自ら気づき準備している姿が目に残りました。そして、茶席では沢山の笑顔に溢れ、お客様と一体となれました事、大変嬉しかったです。

エクスカージョン

諏訪分会 寺澤 由紀

今回のエクスカージョンは、遅れないようにご案内することを第一に考え計画して行きました。

下見を何回も重ね、見つけた片倉館脇の小道、法被を着て御柱で使う「おんべ」を使つての案内、片倉館・諏訪大社を学習して改めて学んだ歴史、みんなの協力でだんだんとお客様を迎える準備を整えることが出来ました。雨が降つたらどうしよう、急病の人が出たら・・・心配は尽きませんでした。当日の朝を迎えたと雨は降ってなくて、まずは一安心。みんなで法被姿で写真を撮り、いざ出発。いろんなことが正直ありました。(笑)ホテルに着いたバスを降りてくる皆さんに、「楽しかったです!」と笑顔で木札を受け取つただけのとき、やつとホッとできました。

大きなトラブルもなく終えたのは、お手伝いいただいた中信青年部のみなさん、色々助言していただいた実行委員のみなさん、そして諏訪青年部のみんなのおかげです。

本当にありがとうございました。



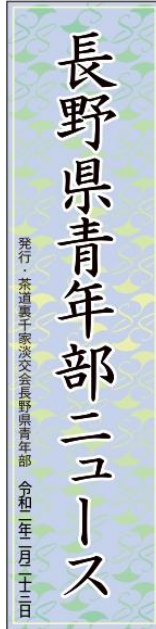
点心席

南信分会 筒井 勇

テーマを「ハレの日」に決定し、全国テレビにも紹介された南信の名物五平餅(御幣餅)をメインにする事に決めました。

しかし、その他の品が中々決まらず直前まで会議、試食を何度も繰り返しながら、なんとか形にする事ができ、お客様にも喜んでいただけましたと思います。

このように滞りなく点心席が出来ましたのも南信分会の皆さん、そして、長野県青年部の皆さん、先生方にも様々なご協力、ご指導を頂きましたことを改めて御礼申し上げます。



特集

第52回北陸信越ブロック大会

新年度を迎えて

長野県青年部 部長 小池 智久

平成から令和へ、長野県青年部も今年は二年目を迎えます。

昨年は第52回北陸信越ブロック会員大会を諏訪の地に迎え、主管青年部として多くの会員の皆様にご尽力を賜りました。同時に、支部の先生方には多大なご心配とご支援、ご指導を賜り、おかげさまで大変なご好評を頂戴しましたこと、改めて御礼申し上げます。

しかし一方で、台風19号による大雨で甚大な災害が発生しました。今もつて、大きな爪痕が残っております。被災者の皆様にお見舞いを申し上げますと共に、一刻も早い復旧、復興を祈念致します。

今年も笑顔満開をテーマに、会員大会を通して感じた想いを、日々のお稽古や青年部の活動に反映しながら、会員一人一人が茶道を楽しんで欲しいと思います。

そんな笑顔の連鎖で、青年部をより盛り上げていきましょう。

本年もよろしくお願い致します。

第52回北陸信越ブロック会員大会を振り返って

大会実行委員長 川島 泰啓

早いもので会員大会が終わり約半年、先ずは長野県青年部会員全ての皆様、ご協力ありがとうございました。心から感謝いたします。

皆様ご承知のように大会は盛況のうち幕を閉じました。改めて振り返り・・・

私が青年部に入り、先生や先輩に学んだ事、出会った仲間や経験した事柄全てが、第52回ブロック会員大会へ繋がっていました。今大会を諏訪の地で行うことが私の役目だったのだと・・・そして私の想いは参加して下さった皆さんに伝えることが出来ました。実行委員長として立たせて頂きありがとうございます。

大会を通じていろいろな「想い」が各々にあつたと思います。様々な苦労や反省点、ご意見を何処かにぶつけるのでは無く、会員一人一人が、それぞれの立場にたち茶道のみならず次のステージへ云つていただければ幸いです。

片倉館席

北信分会 蔵之内利絵

長野県のことを知って頂く！という思いから、飯田の水引で編んだ佐久鯉の結界、松本寄木の蓑盆に釜飯火入、柄杓の下には縄文のビーナスの蓋置、ガラスに漆を塗った薄器、オルゴール香合、片倉館にちなんで木曾漆塗りの風呂桶、そば湯の湯桶水次…。また、木曾五木で造った遠山棚に富士釜、諏訪湖の湖面を思わせる水指、実際の風景と重なったような気がします。軽井沢彫菓子箆の引出しから、楽しそうに干菓子を取り出したり、今回のために制作した信州の観光地や特産品をデザインした数茶碗に、想像以上に喜んでいただきました。



第33期L・T研修

出向員報告

中信分会 吉田 洋哉

この度、第32期リーダーシップ・トレーナー研修の出向員として多くの方々へ支えられながら1年間全6回の研修を無事終えることが出来ました。

研修を通じて宗家や総本部等の歴史や考え方を学ばせていただき、そして奈良・広島・静岡での自主研修を含めて同期の仲間との友情を深め、精一杯駆け抜けた1年となりました。

自分自身の知識・経験・企画立案力等の不足を痛感した1年でしたが、茶道について学ぶこと・考えることを、楽しんだ1年でもありました。これから一層広い視野と情熱を持って日々の稽古や青年部活動に臨み、そして、私自身が新しい時代につないでいけるような存在となり、出向させていただいたことへの恩返しをしていきたいと思います。



式典・懇親会

中信分会 米窪 志乃



式典・懇親会・二次会・講演会の進行、懇親会の余興や二次会の運営、他の分会担当への手伝い等、一人一人に積極的に参加して貰いました。懇親会では諏訪らしい演出として木遣り衆の皆さんによる木遣り唄から始まり、鏡開き、ゲーム等ゲストの皆様にはよろこんでいただけたかと思えます。二次会はDJに盛り上げていただき、パスト全国委員の皆様のリートークも行いまして貴重なお話を伺うことが出来ました。また、特設ブースにて長野県の飲み物の試飲コーナーを設け、参加者の皆様に喜んでいただきました。

卒業生の紹介



東信分会 大井美由紀

今回卒業を迎えました、青年部活動を振り返ってみますと皆様への感謝ばかりです。活動に関わってくださった先生方、一緒に活動した青年部の皆様、すでに卒業された先輩方、協力してくださった皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。



東信分会 堀籠香織

【日々是好日】
毎日がすばらしい一日という意味のこの禅語は茶席でもよく目にする言葉です。当然の事ですが、毎日は楽しい日ばかりではなく苦しい日もあります。その全てを受け入れてこそ『好日』を得ることが出来るのだと青年部活動を通して教わりました。一つの行事を成功させる為には様々な苦勞があります。皆で協力して成功した時の喜びを知り『好日』の真の意味を知ることが出来たと思うのです。おかげさまで、私の青年部での日々は『好日』でした。ありがとうございます。



中信分会 倉本珠弥

青年部での活動を思い起こすと、手作りの講習会、ジャンボリー、青年の日、宗家研修、研修旅行、ブロック大会、数々の茶会など沢山の活動をおして、色々な勉強をさせて頂きました。師匠の田口先生はじめ親支部の先生方、卒業された先輩方、青年部の仲間への感謝の気持ちには言葉にできないほどです。これからも、一層茶道に精進し、御恩返しをしたいと思います。



諏訪分会 赤羽理恵子



南信分会 渋谷洋子

青年部の活動を振り返ると大変な事もありましたが、仲間の笑顔と楽しい思い出いっぱいあります。やはり、同じ目標に向かって活動している仲間がいたからこそ、続けてこられたと実感しています。

卒業に一抹の寂しさを感じる今日この頃。青年部に入っていないけれど経験出来なかったことが沢山ありました。総会、宗家研修、ブロック大会、青年の日、研修旅行、各分会の行事、とすべてが思い出深いです。そして、何となくとも素晴らしい仲間と巡り会えたこと、これは私の財産と言っても過言ではありません。皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



東信分会 高瀬智恵

青年部に入ってから十数年、振り返ってみますと語り尽くせない程沢山の思い出があります。初めて宗家研修に参加した折、先輩に「今度はあなたが後輩の面倒を見る番だよ。」と呪文をかけられ、嫌々ながらも素直な私はその通り道を歩んで参りました。仕方なく入った青年部、言われるがまま受け身の活動でしたが、とある時、二者択一を迫られとうとう研修チームにまでなりました。井の中の蛙だった私が、大海というか日本海の端っこに辿り着き、何とか溺れまじと、必死で泳いでいる内に分会部長となり県役員の一員になっておりました。人見知りな私が、苦しくとも楽しく活動できたのは、手を取り引張って下さった先輩方や支えてくれた仲間がいたからです。

青年部入会案内

1. 50歳までの裏千家茶道愛好者であれば茶道の許状・資格の有無を問いません。淡交会の正副支部長・支部顧問・終身正会員以上の教授者・学校茶道指導者いずれかの推薦を得てください。
2. 年会費は3,000円です（25歳までは1,000円）。

※今期会員は5月31日まで募集しています。